

令和 6 年度
第 14 回ビジネスコミュニケーション検定試験
実施報告及び今後の検定試験について

資 料



主 催 公 益 財 団 法 人 全 国 商 業 高 等 学 校 協 会

ビジネスコミュニケーション検定試験規則

(平成25年2月，26年2月，27年2月，令和3年2月，6年2月，7年1月改定，令和7年4月施行)

- 第1条 公益財団法人全国商業高等学校協会は，ビジネスマナーおよびコミュニケーションに関する知識および能力を検定する。
- 第2条 検定はC B T方式によって行う。
- 第3条 検定は1種類とし、級の区別を設けない。
- 第4条 検定試験は年1回以上の実施期間を設けて実施する。
- 第5条 検定試験の出題範囲は別に定める。
- 第6条 検定試験は100点満点とし，検定に合格するためには，70点以上の成績を得なければならない。
- 第7条 検定に合格した者には，合格証書を授与する。
- 第8条 前条による合格証書は，次の様式による。

様 式

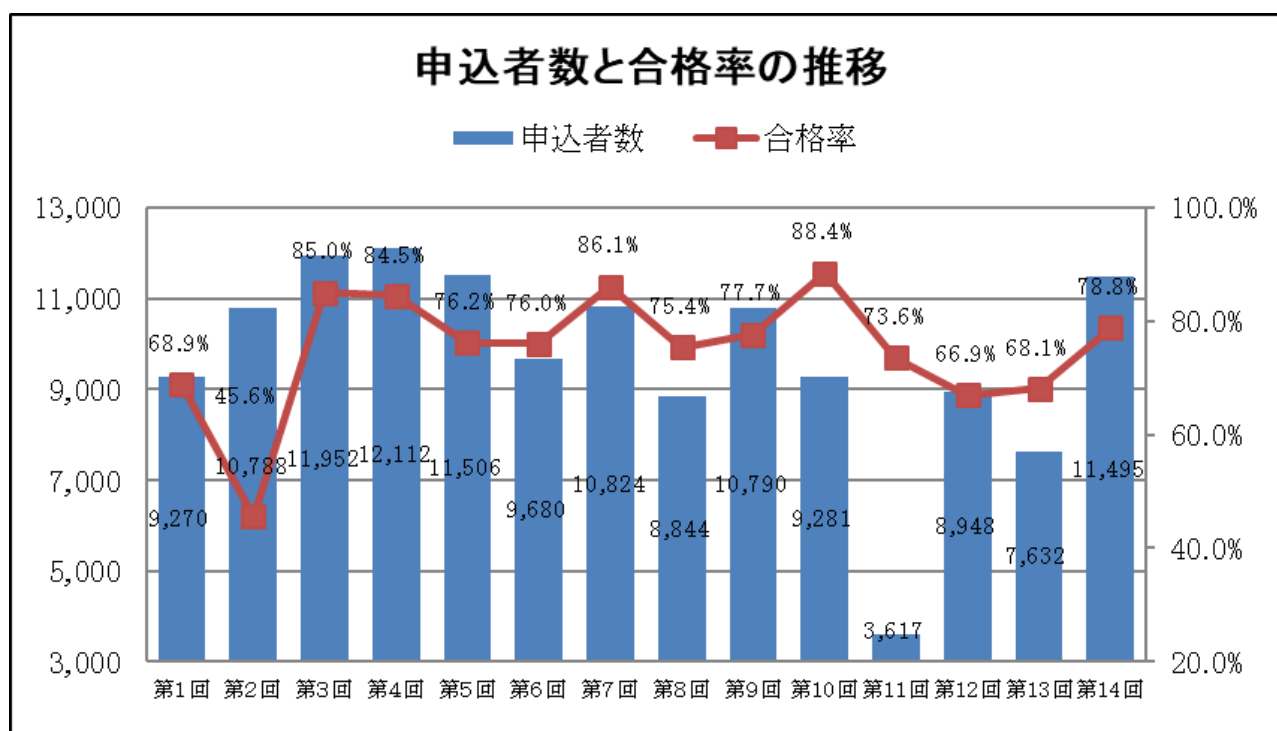
第	号
合 格 証 書	
氏 名	
年 月 日生	
本協会主催文部科学省後援 年度	
ビジネスコミュニケーション検定	
試験に合格したことを証します	
年 月 日	
公益財団法人全国商業高等学校協会	
理事長 氏 名 印	

- 第9条 検定試験受験志願者は，所定の申込手続きを行い，受験料を本協会に納めなければならない。
- 第10条 試験委員は高等学校その他の関係職員がこれに当たる。

ビジネスコミュニケーション検定試験施行細則

- 第1条 受験票は本協会で作成する。受験票は試験当日持参しなければならない。
- 第2条 検定試験規則第4条による実施期間は，毎年6月から7月および11月から12月までの間に定める。
- 第3条 筆記試験の制限時間は40分とする。
- 第4条 受験料は、1,600円とする。(消費税を含む)
- 第5条 試験会場では試験委員の指示に従わなければならない。
- 第6条 合格発表は試験施行後1か月以内に行う。その日時は試験当日までに発表する。

1. 申込者数と合格者の推移



2. CBT 実施について

来年度からは多様なニーズに対応した柔軟な受験機会を提供するため、C B Tでの実施を行います。令和7年6月7日(土)～7月27日(日)及び11月1日(土)～12月21日(日)の年2回実施となります。

(1)出題範囲

学習指導要領に設定されている科目「ビジネス・コミュニケーション」に準拠して設定された出題範囲であり、具体的には以下の通りです。

- ① 学習指導要領の指導項目の「(2)ビジネスマナー」を「1 ビジネスマナーに関する内容」として出題します。
- ② 学習指導要領の指導項目の「(1)ビジネスとコミュニケーション」及び「(3)ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション」を「2 ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーションに関する内容」として出題します。

(2)実施時期

令和7年6月7日(土)～7月27日(日)及び11月1日(土)～12月21日(日)の年2回実施となります。

試験場校が期間内の最大16日間で自由に実施日時を決定することができます。また、複数日程に分けての実施や、平日放課後、授業時間での実施も可能です。

(3)使用機器

教員の監督下で、試験場校のP Cを使用し受験します。

(4)出題数

50 題です。場面を想定した一つの文章を読んで複数の問いに答える中間形式の出題はなく、全で一問一答の小問形式での出題となります。

ぜひ多くの方々に本検定の意義をご理解いただき、生徒たちに挑戦する機会を与えていただければと思います。

3. アンケート意見集約

【ビジネスコミュニケーション検定試験について】

- ・ 特になし(多数)
- ・ テキストにはあるが、ビジネスコミュニケーション教科書に掲載がない問題がある。(宮城県)
- ・ 良問でした。(栃木県)(長崎県)
- ・ 適切な問題である。(埼玉県)
- ・ 授業に沿った内容であり、良問であった。(山梨県)
- ・ 問題は適当だと思います。なかには、高校生ではその場面を想像することが難しいものもあります。しかし、社会で大人と一緒に社会人としてよい関係を作りながら生きていくためには必要なスキルだと考えています。そのため、適切だと思います。(愛知県)
- ・ 学習していれば合格点を取得できる検定出題範囲であり、難易度や量など適切である。(愛知県)
- ・ 1 問ほど記述を入れてもよいのではないですか。(岡山県)
- ・ 良問であったと思います。(岡山県)
- ・ 秘書検定のように、選択肢を 5 項目にする。記述問題を入れる。(愛媛県)

【運用（事務作業）について】

- ・ 特になし(多数)
- ・ さまざまな処理期間が短いことと、会計処理がとても面倒である。運用の手引きも更新が続きや、ページをみてすぐ理解するには難しかった。とても負担増であり、困惑する場面が多々ありました。(宮城県)
- ・ 特に問題なく作業することができました(栃木県)
- ・ Web システムがわかりづらい。(埼玉県)
- ・ 本校は肢体不自由者の学校です。今までも、貴団体にご相談を行い、肢体不自由者の時間延長や拡大コピー等認めていただいていたまいりました。
前任校でも視覚障害と聴覚障害を併せもつ生徒のために、質問を手元で見て面接場面での情報保障の平等を図っていただきました。
今回は、問題をタブレットで見ることができるよう改善していただくことが可能かどうかご相談させていただきたいと考えております。

本校の現状では、足で電動車椅子を操作し、検定の筆記は足で記入、普段の授業はタブレット内のプリントで学習をしている生徒がいます。

別の生徒も手を使ってはいませんが、その他は同じ状況です。また、今回はいませんでした。筋ジストロフィー症の生徒たちも同じような状況にあります。

商業科がありますので、検定受験は可能な限り行いたいと考えております。しかし、検定の問題をめくる作業が大変困難です。

現状は検定中の介助が不可ですので、検定前に冊子を解体し、一覧で見える形で合理的配慮を行い実施しております。

商業科職員は2名のため、現在対象生徒3名が同時に受験した場合、一人ずつに対応はできません。

また、少人数の受験ですので休日出勤でも一人数百円しか支払えませんので、応援の職員が増えれば増えるほど個人で持ち出しになります。

少ないときは、本校の場合一人100円の支払いです。このような状況を考えますと、本人、職員の負担とスムーズな実施を行うために、タブレットの使用が実態に即しているように感じております。

障害がある生徒もタブレットは大変器用に操作を行えます。具体的には、開始直前に問題の画像を校内商業科共有 Teams に上げ、本人が閲覧できるようにします。

個人がどのような操作をしているかは、生徒の iPad を教師用大型モニターとミラーリングし、一元管理を行い不正防止を行います。

インターネットの回線からは事前に停止しておきます。このような対応を基本として、ご検討をいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。(愛知県)

- ・ 年2回の実施を希望します。(愛知県)
- ・ まず、アンケートをやる必要に疑問符がある。さらに言えば何のための、受験者のデータベース化なのかを問いたい。

学年や受験履歴はそれでわかるはずである。得点の任意抽出も、わざわざ、後日答案を出して抽出で入力しなければいけないなら、最初から受験校に依頼文を送るべきである。(奈良県)

- ・ 一日に英検とこの検定の二つを実施するのはよくないと思います。
- 生徒の負担もあるし、当日検定業務のミスのもとになると思います。

来年度からこの検定で CBT 方式が実施されるようだが、PC 教室は限られており、ローテーションを実施すると、午後開始では終了時刻が遅くなります。

アンケートの集計については事前に用紙を配付またはHPにアップするなどしてほしいと思います。各校担当者が変わってしまうと、わからずに手間が増えてしまいます。(岡山県)

令和6年度 第14回 ビジネスコミュニケーション検定試験
申込者数・受験者数・合格者数集計表

令和6年12月15日(日)実施

No.	都道府県名	試験場 校数	合計		
			申込	受験	合格
1	北海道	13	760	683	611
2	青森県	1	112	108	74
3	岩手県	1	43	42	41
4	宮城県	7	439	346	292
5	秋田県	6	132	126	106
6	山形県	2	33	33	33
7	福島県	7	364	330	261
8	茨城県	6	276	194	166
9	栃木県	10	600	529	411
10	群馬県	8	369	339	245
11	埼玉県	10	570	525	394
12	千葉県	3	269	255	206
13	山梨県	3	85	66	51
14	東京都	4	324	267	203
15	神奈川県	1	57	53	39
16	新潟県	4	107	94	74
17	富山県	0	0	0	0
18	石川県	2	71	55	37
19	福井県	5	89	83	72
20	長野県	4	271	240	171
21	静岡県	7	618	546	477
22	愛知県	13	1,060	853	636
23	岐阜県	2	46	34	14
24	三重県	2	102	81	64
25	滋賀県	4	167	153	126
26	京都府	3	45	39	30
27	大阪府	3	207	162	85
28	兵庫県	2	18	13	12
29	奈良県	4	177	164	135
30	和歌山県	3	46	40	32
31	鳥取県	1	11	10	8
32	島根県	4	91	77	62
33	岡山県	7	588	549	503
34	広島県	3	138	114	68
35	山口県	5	130	122	104
36	香川県	3	54	39	24
37	徳島県	4	101	98	60
38	愛媛県	10	410	356	294
39	高知県	4	35	30	19
40	福岡県	7	427	326	234
41	佐賀県	2	284	262	178
42	長崎県	5	135	127	112
43	熊本県	4	83	75	66
44	大分県	8	278	219	153
45	宮崎県	4	264	231	143
46	鹿児島県	9	475	431	349
47	沖縄県	10	534	472	393
合 計		230	11,495	9,991	7,868
合格率			78.8%		